

② 若松港の状況

日本海員組合戸畑支部では大阪支部より十一月二十三日午前（西岡若太郎派遣）と同日午後七時過ぎ（交渉決裂停船せよの旨報が来たので）同夜九時若松港出帆決定の梨花丸に就して即時停船を命じて離業に入つたのである。

之に對して會社側では戸畑支店長等本社の嚴命に依りて出帆せしむべく、臨時船員代りを下關より雇入れ之を乗船せしめ且つ曳船二隻に依り下關に離港せんとした為め組合側では力及はず遂に翌二日三日午前十一時出港下關に向つたのである然るに其際組合側より約五十名の組合員が船隻のボートに分乗梨花丸に尾行したので會社側も之に對抗して雇調員約四十名を二隻の發動機に乗り込ませしめ双方對峙して事變激甚を告げたので若松水上警察署では港外に至り梨花丸に停船を命じ船内を検査したところ離業船員を一室に閉込め船員外の

雇調員八名が乗船してゐたので、之等を拘束し且つ右旁資派方の尾行船を解散せしめたので漸やく無事なる事を得た。

而して翌二十四日組合側では海員組合戸畑支部内に争議九州地方連絡所並に争議行動隊本部を設け、九州地方労働組合會議幹部多数の應援を得て氣勢を挙げ且つ戸畑支部長西岡太郎は失業船員約四十名を引率し門司支部を離脱したのである

③ 若津港の状況

昨下三 郡大川町若津港（筑後川下流）に十一月二十二日午後三時入港の第一本丸は翌二十三日午後四時大牟田港へ進港の直前戸畑支部兼より停船の命令を受け離業に入り、三浦支部の應援を求めて大川町本町三河屋旅館に争議本部を設け船内離業の組合員と連絡を圖り、尚二十日日夜戸畑支部長西岡太郎の乗接あり。